

■ 掲示板

■ 公益信託林女性自然科学者研究助成基金助成公募 (平成23年度)

下記の助成を行うことになりました。

希望者は申請書を受託者にお送り下さい。

対象: わが国の大学、国公立又は非営利事業財団等の研究機関において、自然科学（化学及びそれに関連ある物理学・生物学）の基礎研究に従事する女性研究者（国籍を問わない）。

助成内容: ①研究助成：16件程度、総額約2千2百万円。②林フェロー：博士号を目指す研究者（1百万円）5名程度。2年間助成。③国際研究交流助成（国際研究集会での研究発表、海外での共同研究目的渡航）年12件程度、総額200万円。

申込締切日: 2011年3月31日(木)③は受託者に問い合わせのこと。

申請書: 中央三井信託銀行のホームページからダウンロードしてください。

http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k_topm.html

申込・問合せ先:

〒105-8574 東京都港区芝 3-33-1

中央三井信託銀行本店法人営業部 公益信託課林基金担当

TEL: 03-5232-8911 FAX: 03-5232-8919

MAIL: Masami_Saito@chuomitsui.jp

■ 公益信託山村富美記念女性自然科学者研究助成基金助成公募 (平成23年度)

下記の助成を行うことになりました。希望者は申請書を受託者にお送り下さい。

対象: わが国の大学、国公立又は非営利事業財団等の研究機関において、自然科学（化学及びそれに関連ある物理学・生物学）の基礎研究に従事する女性研究者（国籍を問わない）。

助成の種類: 山村フェロー：博士号を取得している女性研究員（2百万円3名程度。2年間助成）。

申込締切日: 2011年3月31日(木)

申請書: 中央三井信託銀行のホームページからダウンロードしてください。

http://www.chuomitsui.co.jp/koueki/k_topm.html

申込・問合せ先:

〒105-8574 東京都港区芝 3-33-1

中央三井信託銀行本店法人営業部 公益信託課山村基金担当

TEL: 03-5232-8911 FAX: 03-5232-8919

MAIL: Masami_Saito@chuomitsui.jp

■ 会告

■ 日本放射光学会第88回評議員会議事録

日時: 2010年10月23日(土) 14:00~16:00

場所: 理研東京連絡事務所 会議室

出席者: 足立純一、雨宮慶幸、太田俊明、大橋治彦、尾嶋正治(会長)、加藤政博、木村真一(会計幹事)、小杉信博、小林克己、佐々木 聡、澤 博、繁政英治、下村 理、大門 寛、高田昌樹、竹田美和、生天目博文、平井康晴、藤森 淳、水木純一郎(渉外幹事)、宮原恒昱、村上洋一、柳下 明、若槻社市 各評議員、足立伸一(編集幹事)、原田慈久(庶務幹事)、木村 滋(行事幹事)

欠席者: 朝倉清高、石川哲也、辛 埴、田中 均、間瀬一彦、八木直人

事務局: 佐藤亜己奈 (WORDS)、西野三和子 (WORDS)

〈審議事項〉

0-1. 本会議の議長を村上評議員にお願いした。

0-2. 2010年10月1日より2011年度事業がスタートしたことを受け、尾嶋会長より活動方針に関する所信表明があり、1)放射光広報活動の充実、学会会員の増加(目標1,500人)、一般向け市民講座、SSH向け、産業界向け活動の充実、講談社ブルーバックス発行など、2)新しい放射光科学の推進:放

射光科学のビジョン・ロードマップ策定、3)若手研究者の育成、4)アジア・オセアニアの放射光科学のリーダーシップ、5)財政基盤の確立、という活動方針案について説明があった。

1. 2011年度学会組織および事業計画

原田庶務幹事より、2011年度の学会組織(会長、幹事、評議員、各委員会委員)、および事業計画に関する提案があり、承認された。

2. 2011年度行事幹事活動方針

木村滋行事幹事より、2011年度の活動方針について説明があった。第24回年会・合同シンポ(JSR11)、2011年1月につくば国際会議場で開催、第25回年会・合同シンポ(JSR12)は2012年1月に佐賀県鳥栖市で開催予定。また若手研究会、放射光基礎講習会を継続する。

3. 2011年度編集幹事活動方針

足立編集幹事より2011年度の活動方針について説明があった。活動予定は、通常記事の充実、特集の企画(SASE-XFEL特集、次世代リング型光源特集)、シリーズの企画(試料環境シリーズ)、「検出器シリーズ」単行本の出版。ブルーバックスは2011年度中に出版予定。

4. 2011年度渉外幹事活動方針
水木渉外幹事より、ホームページの適宜更新：定期的にチェックする渉外委員の選出、国内外への情報発信の継続（SRNへの投稿など）、AOFSSRR活動の支援などの方針について説明があった。
5. 2010年度中間決算・2011年度暫定予算
木村真一会計幹事より、2010年度の中間決算、2011年度暫定予算について説明があった。年会・合同シンポの収益で学会会計が成り立っている現実のあり方としていいかどうか、という問題提起がなされた。これに対し、現在の学会運営では会誌広告収入の減少が著しく、この減少を補っている年会・合同シンポ（主に企業展示）も重要な学会活動として捉えている、との説明があった。また、基礎講習会の収益を上げる努力をすべき、との意見も出された。
また、会誌広告収入が減少している現状では、出版費用の圧縮をはかる必要があるのではないかと意見があり、会費値上げの際に約束したカラーページ存続の見直しを行うことが提案され、これを承認した。次回以降に具体的な提案（ex. カラーオンラインなど）を行う。
6. 第15回学会奨励賞選考結果
尾嶋会長より4件の応募について学術賞等選考委員会で選考した結果、下記の2名を第15回学会奨励賞の受賞者として推薦する旨の報告があり、審議の結果承認された。
福田勝利会員
（信州大学繊維学部ナノテク高機能ファイバーイノベーション連携センター）
「全反射を利用する放射光X線分析によるナノシートの新しい構造解析法の開発と応用」
松波雅治会員
（自然科学研究機構分子科学研究所）
「光電子分光と光反射分光を組み合わせた強相関電子系の研究」
7. AOFSSRR 協力口設置の方法について
前回の評議員会で設立が承認されたAOFSSRR協力口の具体的な設置方法についての検討がなされた。具体的に寄付をする場合には施設によってどのような形が出しやすいかが大きく異なるので、幹事会で議論し、例えば学会を窓口として特別賛助会員の形で寄付を募る、などの提案を行うこととなった。また施設に依存しない学会運営が必要、との意見が出された。
8. 会員異動（入会）
原田庶務幹事より、第87回評議員会以降の入会申請者に関して、正会員72名（うち学生会員56名）の報告があり、これを承認した。
9. 協賛・後援について
原田庶務幹事より、本学会に対する協賛・後援依頼について報告があり、協賛7件、後援1件を承認した。
10. 放射光科学・光源計画ビジョン・ロードマップ
尾嶋会長より第24回年会・合同シンポの総会で、放射光サイエンス将来計画特別委員会、放射光光源WGの中間報告を行い、放射光学会誌（2011年9月号）に委員会報告書を掲載する予定であること、また学術会議大型施設計画マ

スタープランの改定を行い、12月20日までに学術会議に提出することが報告された。マスタープランについては改定案をWGで議論し、さらに評議員会メンバーにも意見を伺ったうえで提出することとした。

また総会での中間報告について、特別委員会を設ける限りは、中間報告であっても報告する内容を文章化すべきではないかとの意見があり、中間報告に当たっては特別委員会、WGの議論を報告書の形で提出することとした。この内容を検討する際には、必要があれば臨時評議員会を召集するとの説明がなされた。

11. 購読会員のオンラインジャーナル閲覧について

購読会員である理研図書館から所属の個人がオンラインジャーナルを閲覧することに対して問合せがあり、図書館等の団体が購読会員になる場合には、購読会員に含まれる複数人のオンラインジャーナル閲覧を想定して、個人会員の会費を参考に会費を設定すべきとの意見があり、検討することとした。

〈報告事項〉

1. 2010年事業報告

原田庶務幹事より2010年度事業について、第23回総会/年会・合同シンポの開催、学会奨励賞授与、評議員会等各種委員会の開催、学会誌の発行等に関する報告があった。

2. 合同シンポ（JSR11）・市民公開講座準備状況

木村滋行事幹事より第24回年会・合同シンポ（JSR11）の会期、会場等、準備状況に関する報告があり、タイムテーブル、特別講演、企画講演の概要、予算案について説明があった。

また2011年1月9日にエポカル中ホールで開催する市民公開講座「放射光で迫る物質・生命の謎」の準備状況について報告があった。

3. 第2回放射光基礎講習会実施報告

木村滋行事幹事より2010年8月17日-18日に東京大学本郷キャンパス工学部5号館で開催された第2回日本放射光学会放射光基礎講習会「入門者のための放射光技術」に関する実施報告があった。講習会参加者は105名、交流会参加者34名、放射光学会新規入会者は4名、テキストとして使用した「放射光光学技術入門」は36冊の売り上げがあった。今回も非会員の参加は3割近くあったが、より多くの非会員に参加してもらう努力を続ける、との説明があった。また、プログラムはターゲットにより重みづけをする工夫も必要等の意見が出され、今年度のプログラムに反映させることとした。

4. 第2回若手研究会実施報告

木村滋行事幹事より2010年8月3日-4日に東京大学本郷キャンパス工学部1号館で開催された第2回若手研究会「顕微分光のフロンティア」に関する実施報告があった。参加者は106名で、大変好評であったことが報告された。

5. 会誌編集状況・ブルーバックス発行準備状況

足立編集幹事より会誌の進捗状況について報告があった。またブルーバックスの発行準備状況について、現在各章修正中（第3稿）であり出版は2011年の夏頃を予定しているとの報

告があった。

6. Cheiron School 2010実施報告
水木渉外幹事、高田評議員より2010年10月9日-18日にSPring-8で開催されたCheiron School 2010について報告があった。今回、放射光学会に参加者の学会推薦依頼があり、JSR10学生発表受賞者から3名を選出したことが報告された。
7. 会員異動 (退会)
原田庶務幹事より第87回評議員会以降の退会申請者に関して正会員31名 (うち学生会員5名)、賛助会員1社1口との報告があった。2010年10月15日現在の総会員数は1,376名 (うち学生会員136名)、シニア会員3名、賛助会員46社48口。また、会費3年間未納のための自動退会者18名を確認した。
8. シニア会員について
今回の退会者の中から3名が推薦された。シニア会員の推薦方法について、名誉会員との差別化が明確でないため、退会者リストから機械的にピックアップして学会推薦とするのではなく、自己推薦も含め本人の意思確認を取った上で推薦し、評議員会で諮るプロセスを踏むべき、との意見が出された。これに対し、シニア会員は会則にあるように位置づけが名誉会員とは異なり、「放射光科学に貢献した65歳以上の退職者」を対象にしている。現在は退会届けが出て来た会員の中で対象者を選び、本人の意志を確認して会長が推薦し評議員会に諮っており、今回で6名になる。今後は自己申告とし、また、有資格者には幹事会がその旨伝えるとの説明があった。
9. 29学会 (43万人会員) 会長緊急声明
7月30日に「科学・技術による力強い日本を実現するための大学・研究機関の強化と予算措置を求める」緊急声明を提出したことが報告された。
10. 科学研究費分科細目「量子ビーム科学」常設要望書
平成25年度の科学研究費補助金分科細目見直しに合わせ、「量子ビーム科学」を通常の分科細目として認可を依頼する要望書を日本学術振興会に提出したことが報告された。これについて細目を常設したことによるコミュニティへの還元がどの程度のものかをきちんと追跡調査すべき、との意見が出され、細目が常設されるかどうかの決定は来年度以降であるがその際には追跡調査を行いたい、との説明があった。
11. パブリックコメントについて
9月9日に「平成23年度科学・技術関係予算」に関するパブリックコメント、9月16日に大型プロジェクト推進基本構想 (科学技術・学術審議会) へのパブリックコメント、10月1日に「元気な日本復活、特別枠」パブリックコメントを、会員にお願いしたことが報告された。
12. 学術研究の大型プロジェクトの推進について (審議のまとめ)
大型プロジェクトの推進に関する基本構想「ロードマップ」を含む「審議のまとめ (案)」が取りまとめられ、43計画のうち、放射光科学は「基本的な要件が満たされており、一定の優先度が認められる計画」18計画に分類されていることが報告された。
13. 日本学術会議と放射光学会のコラボ

日本学術会議「学術の動向」で「放射光が拓く学術：若手人材探訪」特集が組まれたことが報告された。

14. 評議員会日程 (予定) の確認
第89回評議員会 2011年1月7日 (金)
場所：つくばエポカル
第90回評議員会 2011年4月9日 (土)
場所：未定
第91回評議員会 2011年7月9日 (土)
場所：未定

■会員異動

第88回評議員会 (2010年10月23日) で承認

《正会員入会》

- | | |
|-------|---------------------------------------|
| 河野 正規 | POSTECH |
| 坂井 延寿 | 東京大学工学系研究科 |
| 岡本 泰志 | 株式会社デンソー 材料技術部 |
| 西原 克浩 | 住友金属工業㈱ 総合技術研究所 物性・分析研究開発部 |
| 下平 祥貴 | 昭和電工株式会社 |
| 登野 健介 | 理化学研究所 X線自由電子レーザー計画推進本部 |
| 桐原 陽一 | 理化学研究所 |
| 冉 凡勇 | 東京大学 物性研究所 柿崎研究室 |
| 田村 豪主 | 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 物質系専攻 雨宮研究室 |
| 岡 壽崇 | 日本原子力研究開発機構 先端基礎研究センター放射場生体分子科学研究グループ |
| 今村 真幸 | 佐賀大学, シンクロトロン光応用研究センター |
| 松田 博之 | 奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 凝縮系物性学講座 |
| 金子 房恵 | 住友ゴム工業㈱ 材料第二部 |
| 高山 透 | 新日本製鐵株式会社 |
| カク 慶凱 | 東京理科大学 |
| 中村 正吾 | 横浜国立大学大学院工学研究院 |

以上16名

《学生会員入会》

- | | |
|-------|--|
| 江口敬太郎 | 総合研究大学院大学, 物理科学研究科, 構造分子科学専攻, 横山研究室 |
| 芝田 悟朗 | 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻 藤森研究室 |
| 大西 智弘 | 青山学院大学理工学研究科永田研究室 |
| 酒井 正樹 | 東京理科大学基礎工学研究科 |
| 川田 翔 | 大阪府立大学大学院工学研究科電子・数物系専攻数理工学分野固体物性研究グループ |
| 羽尻 哲也 | 名古屋大学大学院工学研究科マテリアル理工学専攻材料工学分野高嶋・伊藤研究室 |
| 渡辺 辰雄 | 工学院大学大学院 工学研究科 化学応用学専攻 応用分析化学研究室 |
| 廣江 拓 | 東京大学物性研究所 高橋研究室 |
| 長門 真平 | 広島大学 大学院理学研究科 物理科学専攻 光物性研究室 |

- 浦山 拓郎 兵庫県立大学工学部応用物質科学科放射光ナノ工学研究室
- 大野 知佐 兵庫県立大学大学院物質理学研究科エックス線光学講座
- 中筋 正人 兵庫県立大学, 工学部, 応用物質科学科, 高度産業科学技術研究所, ニュースバル, 木下研究室
- 仲 旭 東京大学新領域創成科学研究科雨宮研
- 井上伊知郎 東京大学工学部物理工科学科雨宮研究室
- 後藤 義昭 名古屋大学大学院工学研究科 マテリアル理工学専攻シンクロトン光応用工学研究グループ 高嶋・伊藤研究室
- 菊地 良貴 名古屋大学工学研究科高嶋・伊藤研究室
- 松田 直大 兵庫県立大学 高度産業科学技術研究所 EUVリソグラフィ研究開発センター
- 八巻 竜太郎 群馬大学大学院工学研究科
- 永易 良太 群馬大学大学院工学研究科
- 吉田 哲 佐賀大学
- 米森 啓太 首都大学東京大学院 理工学研究科 光物性研究室
- 小島 太郎 東京大学大学院 新領域創成科学研究科 高田研究室
- 山下 恵輔 兵庫県立大学大学院物質理学研究科
- 鈴木 茂之 慶應義塾大学理工学研究科基礎理工学専攻中迫研究室
- 古本 一仁 広島大学理学研究科光物性研究室
- 飛松 浩明 広島大学大学院理学研究科 放射光研究室
- 小川 古都 名古屋大学大学院工学研究科結晶材料工学専攻生田研究室
- 中森 紘基 大阪大学大学院工学研究科精密科学専攻 山内研究室
- 山田 綾子 東北大学 多元物質科学研究所 上田潔研究室
- 大坂 泰斗 大阪大学 大学院工学研究科 精密科学・応用物理学専攻 山内研究室
- 松井 公佑 奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 凝縮系物性学講座
- 中野 裕太 東京理科大学理学研究科応用物理学専攻齋藤研究室
- 前田 康博 東京理科大学理学研究科応用物理学専攻齋藤研究室
- 内藤 理恵 東京理科大学理学研究科応用物理学専攻齋藤研究室
- 武内 久也 大阪大学基礎工学部 物性 関山研
- 吉田 綾香 兵庫県立大学大学院物質理学研究科物質科学専攻物質反応論1講座
- 篠原 貴道 九州大学 工学府 物質創造工学専攻 高原研究室
- 池松 竜一 福井大学大学院工学研究科電気電子工学専攻電子材料研究室
- 石黒 志 分子科学研究所物質分子科学研究領域電子構造部門唯グループ
- 稲葉 豪志 奈良教育大学大学院教育学研究科中村研究室
- 塚田 千恵 名古屋大学工学研究科量子工学専攻曾田研究室
- 大内 孝雄 東北大学 多元研 電子分子動力学研究分野
- 谷 哲龍 広島大学大学院理学研究科化学専攻反応物理化学研究グループ
- 伊藤 健太 千葉大学大学院融合科学研究科上野研究室
- 坂井 健太郎 東北大学多元物質科学研究所
- 片田 夕貴 横浜国立大学大学院工学府物理工学コース中村研究室
- 大山 真実 東京大学 物性研究所 高橋研究室
- 平山 大裕 広島大学大学院理学研究科物理科学専攻放射光物性研究室
- 羽瀨 隆文 広島大学大学院 理学研究科 物理科学専攻 光物性研究室
- 洪 辰杓 名古屋大学 工学部 物理工学科 生田研究室
- 米原 涼 大阪大学 蛋白質研究所 超分子構造解析学研究室
- 藤城 智之 兵庫県立大学大学院工学研究科物質系工学専攻材料組織学研究グループ
- 和佐 直毅 名古屋大学 大学院工学研究科 マテリアル理工学専攻 シンクロトン光応用工学研究グループ 高嶋・伊藤研究室
- 鈴木 明大 大阪大学 工学研究科 山内研究室
- 池田 真司 大阪大学基礎工学部 物性 関山研
- 藤森 茜 金沢大学医学系研究科岡本研究室
- 以上56名
- 《退会会員》
正会員26名, 学生会員5名, 賛助会員1社
- 《会員数》
会員1376名(内学生136名) シニア会員3名
賛助会員46社(48口)

■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2010年 12/4	第2回 SPring-8 次期計画2019シンポジウム～光科学の明日～	東京学術総合センター 中会議室	物理化学研究所, 高輝度光科学研究センター E-mail: 2019symposium@spring8.or.jp	23・5
12/7-8	物構研シンポジウム'10 「量子ビーム科学の展望」	つくば国際会議場	高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 E-mail: imss-sympo@pfiqst.kek.jp	23・5
2011年 1/7-1/10	第24回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム	つくば国際会議場	日本放射光学会 E-mail: jsr11@jsrr.jp	23・6
1/20	表面科学技術研究会2011 —固液界面のナノ世界が切り拓くエネルギー, 環境, そして命—	神戸大学瀧川記念学術 交流会館	日本表面科学会関西支部, 表面技術協会関西支部 E-mail: mota@shimadzu.co.jp	23・6
5/22-27	第8回新材料とデバイスに対する原子レベル・キャラクタリゼーションに関する国際会議 (ALC '11)	韓国・ソウル, Olympic Parktel	日本学術振興会マイクロビームアナリシス第141委員会 E-mail: alc11@jsps141.surf.nuqe.nagoya-u.ac.jp	23・4

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

● 会誌オンライン利用方法に関するご案内 ●

編集委員長 足立 伸一
渉外幹事 水木純一郎

オンライン会誌にアクセスするには、放射光学会のトップページにある会員専用ボタンをクリックし、会員専用ページにアクセスする必要があります。

会員専用ページにアクセスするためのユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr241

Password : uBa9k2tu

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

会員専用ページにある、学会誌「放射光」のオンライン閲覧をクリックして頂ければ、オンライン会誌を従来通りご覧頂くことができます。

会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。

ホームページに関して問題等ございましたら、水木 (mizuki.junichiro@jaea.go.jp) までご連絡下さい。オンライン会誌に関するご連絡は、足立 (shinichi.adachi@kek.jp) までお願いします。